

今年度の情報伝達訓練を実施

(企画部会・施工技術部会)

……中国地方整備局所管施設にかかる応急対策業務に関する協定による……

(社)日本建設機械化協会中国支部では5月25日(水)支部事務局を対策本部とし、災害時の応急対策業務支援を想定した「情報伝達訓練」を実施しました。

去る3月11日に発生した「東日本大震災」の状況や復旧・復興に対する緊張度も日増しに高まり、「災害」をより身近に感じる状況下での訓練となりましたが、「協定」に基づく実施体制、連絡系統により協定参加会員の協力のもと、無事その目的を達成しました。

今回は、整備局からの「訓練への協力要請」を受けた、昨年に続いての2度目の「訓練」であり、機械設備班、災害対策機械班、建設機械班が参加しました。

「訓練」は、「協定」に基づく実施体制、連絡系統等について再認識することを目的に実施するもので、今後とも回を重ね、その充実に努める予定としています。以下、今回の実施概要を報告します。



実施日時:平成23年5月25日(水) 9:30~16:00

(被災想定)

浜田河川国道管内・国道9号、浜田市原井町にて豪雨により大規模地すべりが発生。

道路延長 200mが被災。地滑り土塊が堆積し河川をせき止めており、崩壊の危険性あり。至急、土塊撤去の必要あり。同時に作業中の排水も必要。

(応援要請内容)

- 空撮用のラジコンヘリコプター(1基)の調達及び操縦・点検修理班(2名/班×2班)の派遣要請
- 作業中の排水ポンプ車、照明車が故障発生。点検修理班(2名/班×5班)の派遣要請
- 上記の調達・派遣(班編成)の可否と、編成後は所定の基地への到着可能時刻等の報告

(訓練参加会員の声(建設機械班・災害対策機械班))

・通常無い機械の要請であったので調達が無理であった。

(今後、災害時にこういった要請が予想されるなら事前把握しておく事も必要ではないか?)

・情報伝達連絡票は班長のみでなく全会員に流した方がよりスムーズに進行するのではないか?

(被災想定)

浜田河川国道管内・高津川(益田市横田)で堤防決壊。内水排除施設故障で床下浸水中。

排水樋門ゲート設備7ヶ所、排水ポンプ設備1ヶ所故障。双方とも早急に修理・機能回復が必要。

(応援要請内容)

- ゲート設備点検・修理班(2人/班×2班)、ポンプ設備点検・修理班(2人/班×1班)の派遣要請
- 上記の派遣(班編成)の可否と、編成後は所定の基地への到着可能時刻等の報告

(訓練参加会員の声(機械設備班))

・連絡系統の連絡者①の方は、実際に実務を担当している方が望ましいと感じた。

・訓練の時期(出水期前)、時間等は概ね良かった。

訓練を通して

- ◎実際の派遣時に適切に行動出来るか少し不安が残った。年に1回でも訓練を続けた方が望ましい。
- ◎今回は2回目の訓練ということもあり、全体的にスムーズに進行したと感じた。
- ◎要請内容及び集合場所への道路情報等が明確で良かった。